

## 社会

### ① 日本の地理

〈解答〉(1) エ☆☆ (2) う☆ (3) イ☆☆

(4)① 中京☆☆ ② イ☆☆ ③ イ☆

(5)① 鳥取市☆ ② エ☆

(6)① 都市の中心部の気温が周辺地域よりも高くなる現象。☆☆

② ウ☆☆

(1) 香川県の県庁所在地である高松市は、降水量が少なく比較的温暖な瀬戸内の気候の地域に含まれている。よって、エのグラフがあてはまる。冬の降水量が多いアは日本海側に位置する金沢市（石川県）、気温が低く降水量が少ないイは札幌市（北海道）、夏の降水量が多いウは太平洋側に位置する静岡市（静岡県）のグラフである。

(2) 日本で最も流域面積が広い河川はうの利根川である。なお、あは石狩川、いは信濃川、えは淀川である。

(3)ア（誤） Aの青森県は、津軽平野などで果樹栽培が盛んで、りんごの都道府県別生産量が全国第1位となっている。ぶどうやももの都道府県別生産量が全国第1位の都道府県は山梨県である。

イ（正） 冬に降雪量が多いBの新潟県は1年に1度稲作のみを行う水田単作地帯となっており、米の生産量は全国有数である。

ウ（誤） Cの高知県は温暖な気候を利用し、なすやピーマンの促成栽培が盛んである。

エ（誤） Dは熊本県である。パイナップルやさとうきびの栽培が盛んで都道府県別生産量が全国第1位なのは、沖縄県である。

(4)② アは原油、イは石炭、ウは鉄鉱石の輸入相手国を示している。

③ アのたまねぎ、ウのじゃがいもは北海道で生産が盛んである。エの茶は、静岡県や鹿児島県で生産が盛んである。

(5)②ア（誤） 日本の人口は減少傾向にあるが、約1.2億人で、1億人を下回ってはいない。

イ（誤） 65歳以上の高齢者の人口（老年人口）は総人口の3割近くを占めている。

ウ（誤） 日本の人口は、三大都市圏といわれる東京大都市圏・大阪大都市圏（京阪神大都市圏）・名古屋大都市圏にとくに集中している。

(6)① 都市の中心部の気温が周辺地域より高くなる現象をヒートアイランド現象という。ヒートアイランド現象が起こる原因としては、地面をお

おったコンクリートやアスファルトが熱をため込み大気へ多くの熱を放出すること、自動車や冷暖房機から大量の熱が出ていること、建築物が密集したり建物が高層化したりして風通しが悪化したことなどがあげられる。

②X（誤） 第一次産業は自然に直接はたらきかけて生産活動を行うもので、農林水産業などが含まれる。第二次産業は原材料を加工して工業の原料・製品などを生産するもので、鉱業・製造業・建設業などが含まれる。商業・サービス業などは第三次産業に分類される。

Y（正） 日本の産業別の人口は、第三次産業が7割以上を占めており、次いで第二次産業が約2割、最も少ない第一次産業は1割未満である。

### ② 江戸時代までの歴史

〈解答〉(1) 天武☆☆

(2) 庸☆ (3) エ→ア→ウ→イ☆☆

(4) ア☆☆

(5)① 足利義満☆ ② ウ☆☆ (6) ア☆☆

(7)① 武家諸法度☆ ② ウ☆☆

(8) 日本と欧米諸国の金銀の交換比率には差があり、日本では金の価値が低かったから。☆☆

(3) エの墾田永年私財法が出されたのは奈良時代の743年である。アの坂上田村麻呂は、平安京に都をうつした桓武天皇のもと、797年に征夷大将軍となった。ウの菅原道真は、平安時代前期の894年、唐の衰退や航海の危険などを理由に遣唐使の停止を進言した。以降、遣唐使の派遣は行われなくなった。イの藤原道長が摂政となったのは平安時代中期の1016年である。

(4)ア（誤） 平清盛が源義朝を破ったのは1159年の平治の乱である。承久の乱は後鳥羽上皇が1221年に鎌倉幕府に対して起こした反乱である。

(5)②ア（正） 1517年、ドイツのルターがカトリック教会を批判し、宗教改革を始めた。

イ（正） 1492年、コロンブスは大西洋を横断し、アメリカ大陸に近い西インド諸島に到達した。

ウ（誤） 1789年、民衆がバスチーユ牢獄を襲撃し、フランス革命が始まった。

エ（正） 1549年、イエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエルが来日し、キリスト教を伝えた。

(6) 佐渡金山は現在の新潟県の佐渡島（地図中の

ア) に位置している。豊臣秀吉や江戸幕府によって直轄された。現在は、世界遺産の文化遺産にも登録されている。なお、イは足尾銅山(栃木県)、ウは石見銀山(島根県)、エは別子銅山(愛媛県)である。

(7)② 徳川綱吉が将軍であった17世紀末～18世紀初めごろ、上方を中心に町人を担い手とする元禄文化が栄えた。このころ、菱川師宣は浮世絵を始め、「見返り美人図」(ウ)などの作品を残した。

なお、ア・イ・エは、19世紀前半に栄えた化政文化を代表する作品である。

(8) 開国した当時、日本では金1:銀5、欧米諸国では金1:銀15と金銀の交換比率が大きく異なっており、日本の方が金の価値が低かった。これに目をつけた欧米諸国の商人らは、日本国内に銀をもち込んで日本の金貨と交換し、日本で手に入れた金貨を欧米諸国で銀貨に交換した。たとえば日本で銀貨5枚を金貨1枚と交換し、その金貨1枚を欧米諸国にもって行って15枚の銀貨と交換したのである。これにより、初めは5枚だった銀貨が日本での金貨との交換を経て15枚の銀貨となり、3倍の銀貨が手に入ることになる。こうして、大量の金貨が日本国内から流出することになった。

### ③ 明治・大正時代の歴史

〈解答〉(1)① 富岡製糸場☆

② 江戸幕府が結んだ不平等条約を改正すること。☆☆

③ 西南戦争☆☆

(2)① 文明開化☆☆ ② イ☆

(3)① 平塚らいてう☆☆ ② ウ☆☆

③ ウ☆☆

(4)① エ→ウ→ア→イ☆ ② イ☆☆

(1)② 江戸幕府が欧米諸国と結んだ日米修好通商条約をはじめとする条約は、日本に関税自主権がなく、外国に領事裁判権を認めるといふ不平等なものであった。岩倉具視を全権大使として1871年に出発した岩倉使節団は、この不平等条約の改正の予備交渉を行おうとしたが、日本国内の制度が整っていなかったことなどから成功しなかった。

一方、使節団やこれに同行した留学生たちは、議会・工場・学校などを視察し、欧米諸国の政治・産業・文化を詳細に調査した。このことは、日本の近代化に大きな影響を与えた。

(2)② X (正) 1872年の学制により、満6歳以上

の男女すべてに教育を受けさせることが義務となり、全国に小学校が建設されていった。

Y (誤) 授業料は家庭で負担しなければならなかったため、子どもを通学させない家庭もあり、とくに女子の就学率はなかなか上がらなかった。また、学校の建設費は地域の負担となったので、不満を抱く人々も多かった。

(3)② 大正時代は、1912～26年である。

ア (正) 第一次世界大戦後の1920年、アメリカ合衆国のウィルソン大統領の提案により、世界初の国際平和機構である国際連盟が設立された。新渡戸稲造は、国際連盟事務局次長を務めた。

イ (正) 第一次世界大戦中の1915年、日本は二十一か条の要求を中国に示し、山東省におけるドイツ権益の譲渡などを強引に認めさせた。

ウ (誤) 明治時代の1910年、日本は韓国併合を行い、朝鮮総督府を置いて、朝鮮半島を植民地とした。

エ (正) 第一次世界大戦後の1921～22年、アメリカ合衆国の提案により、ワシントン会議が開かれた。この会議では主力艦の保有を制限する条約や、中国の主権の尊重を定めた条約などが結ばれ、国際協調の時代が訪れた。

③ 1890年の第1回衆議院議員総選挙のとき、選挙権が与えられたのは直接国税を15円以上納める満25歳以上の男子のみであり、総人口の1.1%にすぎなかった。1925年に成立した普通選挙法では、納税額による制限がなくなり、満25歳以上のすべての男子に選挙権が認められた。しかし、女性にはまだ参政権が認められておらず、1928年に行われた衆議院議員総選挙でも、人口に占める有権者の割合は20.8%にとどまった。

(4)① エの下関条約は、日清戦争の講和条約として1895年に結ばれた。ウの義和団事件は、1900～1901年に清で起こった列強の中国進出に反対する運動を列強諸国の連合軍が鎮圧した事件である。アの日英同盟は、南下するロシアに対抗するため、1902年に結ばれた。イの日比谷焼き打ち事件は、1905年に日露戦争の講和条約であるポーツマス条約に不満を抱く人たちが起こした暴動である。